

## 商 況

(日本製鐵販賣旬報第 126~128 號より抜萃)

## 昭和 13 年 9 月中鐵鋼關係日誌

1 日 歐洲鐵鋼輸出値段は引續き不變なるも米國値段は次の如く引下げの旨入電あり。

	Cif. Rrice per 2,240 lbs	Free on lighter in Tokyo per 1,000 kgs
M. S. Bars (Base size)	\$ 49.056	¥ 175.79 (-7.99)
" Angles ( " )	47.936	171.93 (-3.96)
" I. Beams ( " )	47.936	171.93 (-3.96)
" Channel ( " )	47.936	171.93 (-3.96)
" plates ( " )	46.816	168.46 (-3.47)
Sheet Bars (Common size)	37.65	135.67 (- 0)
Billets ( " )	37.65	135.67 (- 0)
Ingots ( " )	35.35	127.61 (- 0)

○去る 8 月 25 日商工省及東京府では日鋼聯、各種共販、全鋼商及全特聯の各代表と東京府鐵鋼製品工組聯代表との協議會を設置し東京府鐵鋼配給協議會と命名して今後定期的に開催し鐵鋼配給統制の圓滑を期する事となつたと。

○暴風雨による交通、通信機關故障のため東京株式取引所を初め各商品取引所は立會を延刻した。

○去る 30 日商工省は鋼材短尺物取扱に關し、地方長官宛次の通牒を發した。

1. 製鋼業者、伸鐵業者、シャーリング業者より發生する級外品、短尺物等は何れも統制品とすること(熔解用として販賣せらるるものを除く)
2. 右級外品、短尺物は製鋼業者、伸鐵業者、シャーリング業者又は特定の問屋のみに取扱はしむることとす。特定の問屋は 9 月初旬迄に決定の上通知す。
3. 従て製鋼業者、伸鐵業者、シャーリング業者又は特定の問屋に於て取扱ふ級外品、短尺物の販賣に當りては何れも配給證明書と引換ふることを要す。
4. 製鋼業者、伸鐵業者、シャーリング業者又は特定の問屋以外に於て取扱ふもの(機械工場、建築現場よりの發生短尺物、屑鐵中より撰別する短尺品等)に付ては當分の中證明書を必要とせず。

○長期戦に對應するため、鐵鋼の消費統制は固より生産部門に於ても 7、9 月生産割當は 4、6 月のそれに比し、平均 1 割 6 分の減産をなすに至るが、一方滿洲に於る鐵鋼の需要は著しい増加を示し、之に加へて原料の輸入は爲替關係にて思ふに任せず、爲に日鋼聯では特殊需要たる棒鋼、形鋼、厚板等の大形物の減産率を 4、6 月の生産率まで緩和することとなつた。

2 日 實施中の銑鐵鑄物及鋼製品の製造制限に關し、商工省は運用細目を全國各地方長官宛通達を發した。

3 日 商工省は告示第 258 號を以て屑鐵、故鐵竝に再生銑鐵について 8 月 30 日の市價を超えて販賣する事を禁止した。

○空陸の協力により要衝馬廻り陥落す。

5 日 日本亞鉛鐵板工業組合では理事會を開き過日の關東地方一

帶の風水害對策として、亞鉛鐵板 5,000 t を東京、千葉、群馬の 3 府縣の被害地へ公定價格 1 枚 1 圓 38 錢を以て供給する事になつた。

6 日 高珪素銑については商工省はそれが、珪素 35% 以上含有してゐる關係上、特殊銑として切符制の適用外に置かれてゐるが、高珪素銑は普通銑 1 號と酷似してゐるのに後者のみ切符制を適用することの片手落の弊害を防ぐべく今般高珪素銑についても切符制を適用することとなつた。

○本日ロンドンで開かれた大陸鐵鋼カルテル代表委員會は、  
1. 今後カルテルは如何なる市場に對してもその賣値を變更せず 1. 上記の決定は全鐵鋼製品に適用されるものとすとの決議をなしたりと。

7 日 商工省は告示第 261 號を以て物品販賣取締規則第 1 條の規定に依り故又は屑の鐵の販賣價格を次の通り指定し來る 10 月 1 日より施行することとなつた。

故又は屑の鐵の最終販賣價格(故又は屑の鐵を原料として使用する者に販賣する價格)

1. 故又は屑の鋼

甲. 熔解用

イ. 平爐用

1 t 100 圓

ロ. 電氣爐用

1 t 110 圓

乙. 伸鐵用(抜物用及押物用を含む) 1 t 130 圓

2. 故又は屑の銑(鑄物を含む) 1 t 100 圓

備考 本指定價格は故又は屑の鐵を原料として使用する者の工場又は買入所に最も近接する河岸着解乗渡又は驛着貨車乗渡の價格(船又は鐵道以外の場合に在りては持込乗渡の價格)とす

以上は商工大臣が指定した最初の全國的公定價格である。

○線材の指定問屋、14 店は商業組合を結成し創立總會を開催した、理事長は穂村商店と決定す。

○磨帶鋼生産業者を以て組織する日本磨帶鋼工業組合聯合會の創立總會開かる。同會は磨帶鋼需給調整協議會に参加し政府の行ふ鐵鋼配給統制方針に従ひ所屬磨帶鋼工業組合に對し、原料帶鋼の獲得、磨帶鋼生産數量の割當、規格の統一、共同販賣機關による共同販賣等を行ふ。理事長は關山延氏。

○今週の米國製鋼作業率は全能力の 39.9% と前週より 4.1% の減少であつたが、之は休日が挟つた關係であり自動車、建築方面共に買物活潑な爲今後は作業率増大が豫想されてゐる。スチール株は 60 弗 5/8。

7 日 鋼塊組合理事會では曩に棒鋼、形鋼等の大形物の減産率を 4、6 月のそれにまで緩和することとなりたる爲(1 日の臨事参照)之が原料として鋼塊の生産割當を現行 7、9 月のそれより 2 割方の緩和を圖る事に決定した。

8 日 7 月中の 13 都市卸賣物價指數の總平均は 149.3% にして

前月より 1.1% の増、前年同期に比し 21.6% 増に當る。東京のそれは 153% にして前月より 0.7% の騰貴を示した。

9 日 西孤嶺を奪取す。

9 月上旬爲替相場

區分	日	1	2	3	5	6	7	8	9	10
對英	1/2	"	"	"	"	"	"	"	"	"
對米	28-3/16	"	28-1/4	"	28-1/8	"	28-3/16	28-1/8	28-1/16	

11 日 U.S スチール會社發表、8 月中の同社鋼材引渡高は 559,000t で前月に比し 117,000t の増加である。

○我軍は富金山を占領す。

12 日 商工省は省令第 78 號を以て鐵鋼配給統制規則の一部を次の通り改正す。第 2 條中「鐵鋼ヲ使用スル者ニ對シ鐵鋼ヲ販賣」の下に「(本則施行前ニ爲シタル契約ニ依ル引渡ヲ含ム以下同ジ)」を加ふ。以上は昭和 13 年 6 月 30 日現在の既契約未積出品を如何に處理するかに関し重要な改正である。

○日本鋼材聯合會常務委員會に於て第 34 半期(7-9)生産割當は軍需註文の激増、滿洲向鋼材の増加、其他實需狀態に變化有りたるを以て、商工省より追加割當ありたる旨報告があつた。

○大阪伸鐵工業組合では 9 月第 2 回賣出値段を据置と發表した。

○ヒトラー總統はニュールンベルク大會に於て、チエツコ問題に關してドイツはゾデーテンドイツ黨の主張を認め、ドイツ國民によりゲルマンドイツ國の建設をなし、英佛には此の問題より手を引く事を要求すと述べた。

13 日 ズデーテン地方の各所に於てズデーテン黨員とチエツコ官憲との衝突事件あり上記地方に戒嚴令を布告し、軍隊を派遣するに至た。

○棒鋼、形鋼、鋼板共販組合の指定問屋は以上三共販組合に依て統制される鋼材の配給に關し其指示に従ひ市價の統制と圓滑なる配給を達成するの目的を以て覺書を締結し此程調印を了した。

○米國南部の有力なる銑鐵製造業者は去る 1 日、本年第 4 期(10~12 月)の銑鐵建値を据置と發表したが、アメリカ全國の銑鐵製造業者の大部分も之に追隨した。

14 日 商工省は告示第 270 號を以て鐵鋼配給統制規則第 2 條の規定に依り次の通り團體を指定す。

食料品罐詰製罐工業組合、5 ガロン罐工業組合、日本鐵鋼製品工業組合聯合會。

○薄板共販理事會は 10 月賣出値段は据置と決定した。

○線材共販理事會に於て輸出用荷造に要する釘、針金の線材製品の需給調整及價格に關する事項を協議するために需給調整協議會を設置する事となつた。同會は少くとも年 4 回之を開催す。關係者は商工省關係官、線材共販代表者、日本鐵鋼製品工業組合聯合會理事長及専務理事、線材加工工業組合消費者代表者。

○半製品棒鋼共販組合第 2 部は理事會を開催し、次の諸項を決定した。

理事及理事代理販賣價格については次回理事會に於て協議す。

中間鋼と普通鋼材と一見して區別し得るやう本組合のマークとメーカーのマークを打刻する事。

第 2 部新規加入會社に關する件

○武穴對岸の馬頭嶺を攻略す。

15 日 鉄力板及帶鋼共販理事會開催建値は据置と發表。

○チエンバラシ英首相はチエツコ問題についてヒトラー總統をベルヒテスガーデンに訪ふ。

16 日 商工省は告示 272 號を以て政府に於て製造若しは購入し又は政府の註文する工事若しは製造品に使用するばね鋼、薄鋼板及中鋼板の寸法及重量の公差の規格を定む。

○米國の一般屑鐵相場はピッツバーク消費者渡 15~15 弗 50 仙、同輸出向紐育解渡 11~11 弗 50 仙、レール屑輸出向ボストン貨車渡 12 弗 50 仙~13 弗。

○我軍は光州城を占領す。

17 日 8 月中の全國生計費指數は 211.0 で 7 月より 0.3% の續騰を示した。

18 日 長江の堅壘武穴陥落す。

19 日 商工省は輸出入品臨時措置法第 2 條に基き石炭配給統制規則を制定し軍需、特殊民需及び製銑用銑鐵鑄物用コークス竝にガス製造原料炭の供給を除いては 10 月 1 日より割當證明書を發行する事となつた。

○歐洲政局の不安を映して米英爲替相場は引續き軟化を報じてゐたので我が對米爲替相場も 27 弗 15/16 と休日前に比し 1/16 分安、昭和 10 年 3 月來の新安値を示現した。

9 月中旬爲替相場

區分	日	9	10	12	13	14	15	16	17	19	20
對英	1/2	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
對米	28-1/16	28-0	"	"	"	"	"	"	"	27-5/16	28-0

20 日 去る 12 日の棒鋼及形鋼共販理事會に於て 10, 11 月積建値は据置とし短尺、端尺及發生品の販賣最高値段は各品種別ベースものの建値の 15 圓引となし之が實施期日は 10 月 1 日(棒鋼共販は 10 月 7 日)となす事と決定した。尙製鋼業者發生短尺物に對する取扱方法に關しては各方面とも諒解の上次の如く成案を得て、之を實施する事に決定した。

1. 鋼材共販組合又は伸鐵工業組合は短尺物の取扱店を指定し指定取扱店は鐵鋼割當證明書引換に非ざれば之を販賣することを得ず。

需要者より發生したる同種品に付ても該指定取扱店が取扱ふ限りは製鋼業者よりの發生品と看做す。

2. 小型シャーを以て短尺物の切揃販賣をなす業者は工業組合を結成せしめ道府縣工聯より鐵鋼割當證明書(短尺物)を發行す。

3. 割當證明書の配給を受け之と引換に指定取扱店より買入れたる短尺物切揃品の價格は鋼材共販組合又は伸鐵工業組合に於て決定す。

4. 指定取扱店間に於ける取引は鋼材共販組合又は伸鐵工業組合の承認を受けること。

○去る 13 日鋼板共販理事會では、製鋼業者發生疵板端板に對する取扱に關しては前日棒鋼及形鋼共販に於て決定したる短尺端尺及發生品の取扱に準じ、最高販賣値段は共販耳付値段の 15 圓引となすことと決定した。

○15 日の帶鋼共販理事會に於ても製鋼業者發生短尺物に對

36

する取扱については棒鋼、形鋼及鋼板共販に従ひ決定した。

○国際ブリキカルテルは去る5月ローマに於てカルテルの期限延長を決定したが、最近新協定案に調印を了した。其期間は1941年6月末までである。尙現行のブリキ輸出相場は国際鐵鋼カルテルの價格政策に従ひ之を變更せざる事に決したと。

○US スチール會社の有力子會社たるカーネギー・イリノイス製鋼會社は鐵道材料の賣値引下げの外賦力の賣値も1tにつき3弗方引下げを發表した。尙ブリキの賣値も1tにつき3弗方引下げられたと。

22日 米國今週の製鋼作業率は全能力の47.3%と前週より2%方の昂騰。

○7月の全國労働名目賃銀指數は(大正3年7月基準)は286.4で前月より4厘の低落、實質賃銀指數は生計費指數の激騰により136.2で前月より2分2厘激落を示した。

○北支臨時政府及中支維新兩政府の中華民國政府聯合委員會を設置し、之を北京、南京に於て交互に開催する事とし主席委員は王克敏と決定。

23日 ドイツ鐵鋼協會發表、8月中の獨逸銑鐵生産高は1,585,000t(前月1,625,000)鋼2,018,000t(前月1,981,000)と發表。

○米國1級屑鐵相場はピツツパーク消費者渡15~15弗50仙、同輸出向紐育浮渡11~11弗50仙、レール屑物輸出ボストン貨車渡12弗50~13弗で前週と保合。

26日 屑鐵共同購買會では定例理事會を開催し10月1日より施行せらるゝ内地屑鐵公定價格に順應すべく下記の通り申合せをした。

10月1日以降の内地屑鐵購入價格(t當り)

- (1) 特級及1級品(2分厚以上) 金100圓替  
(此の分に限り電氣爐用は10圓高)
- (2) 2級品 (1分厚以上) 金97圓替
- (3) 3級品 (5厘厚以上) 金94圓替
- (4) ブラックシート屑のプレスしたもの 金97圓替
- (5) 錫脱鉄力屑のプレスしたもの 金95圓替
- (6) 雜プレス

A 赤プレス(鉄力、トタン板等の混入なきもの) 金75圓替

B 白プレス(鉄力、トタン板等を締めたるもの) 金65圓替

但しA及B共プレスせざるものは各5圓引のこと。

(7) ドライ粉 金75圓替

備考 前記購入價格は使用工場又は買入所に最も近接する河岸着艇乗渡又は驛着貨車乗渡價格(船又は鐵道以外の場合にありては持込乗渡の價格)とす。

27日 米國商務省は8月中の銑鐵輸出高を20,000t、屑鐵輸出高は107,000tと發表した。

○豫て修理中の八幡製鐵所洞岡第一高爐(500爐)の修理成り火入式舉行。

○半製品、棒鋼共販第2部理事會では中間鋼について次の如く決定した。

1. 中間鋼の棒鋼品種別及成分

- 半軟鋼 (C0.3-0.4 Si0.3以下 Mn0.4-0.7 PS0.04以下)
- 半硬鋼 (C0.4-0.5 " " " )

硬鋼 (C0.5-0.6 " " " )  
最硬鋼 (C0.6以上 " " " )

2. 販賣値段(10月渡指定河岸着)

棒鋼硬質別ベース値段(t當り)

半軟鋼 金259圓 半硬鋼 金259圓  
硬鋼 金268圓 最硬鋼 金278圓

10月1日より本組合建値にて販賣すること。

3. エキストラ(本旬報掲載昭和13年9月中發表各種鋼材建値表参照)

4. 取扱問屋口銭は建値の2割とす但切斷運賃及配給に要する運賃は實費別途加算すること。

5. 中間鋼たることを證するの外製造所を明示する爲各種製品(市販すのみ)1本毎に左より組合員マーク、組合マーク(⊕)の順序に打刻にすること及び現在の問屋ストック品に對しては各メーカー立會の下に(⊕)を打刻せしめることに決定した。

28日 今週の米國製鋼作業率は全能力の46.7%と見積られ前週より0.6%方減少。

29日 ミュンヘンに於てヒットラー獨總統、チエンボレン英首相ムソリ=伊首相、ドラヂエ佛首相はチエツコ問題に對する時局收拾の爲會議を開催獨逸の要求を全面的に承認する事となり、10月1日よりズデーテン地方に於ける特定地域のドイツへ移讓を決定した。

○田家鎮陷落す。

30日 商工省は省令第84號を以て鐵鋼配給統制規則第1條及第2條を改正し10月1日より施行することとなつた(詳細は本旬報掲載鐵鋼配給統制規則の改正参照)

○宇垣外務大臣兼拓務大臣は辭職し近衛首相兼任となる。

○全國主要24市平均の本年9月分労働者生計指數は113.2で8月の指數より1厘低落昨年同期より1割1分3厘の上昇を示す。

9月下旬爲替相場

區	月	9	21	22	23	26	27	28	29	30
分	日									
對	英	1/2	"	"	"	"	"	"	"	"
對	米	28-1/16	28-1/16	28-1/16	27-13/16	27-11/16	27-9/16	"	"	27-7/16

海外鐵鋼情況

【上旬】ブラツセル市況(8月11日) 休日の影響の爲に、需要は更に幾分の引弛みを示してゐるが、然し全體として見れば、ベルギー市場は尙比較的満足な状態を維持してゐる。買付は前週に較べて幾分縮小してゐるが、然し大體が毎年8月は取引の少い月なのである。今月に入ってから、ベルギーでは毎日よく晴れて非常に暑い日が続いた。ブラツセル鐵鋼取引場の參會者が先週より減少したのも、確かに其の爲であらう。そして9月始めまで之等の事情は大して變化しないだらうと思はれる。とにかく賣手側は、現在の取引の休止状態を、さほど注意す可きものとは考へてゐない。それといふのも、8月は商内が夏涸れ状態を示すのは例年の事であるから、それをもつて市場の眞の需要を表すものとは考へ得ない、といふ事は周知の事實だからである。メーカーも此の點については可成り信頼してゐる。永い間買付が非常に少なかつたといふ事が9月、10月に於ける買付復活の原動力となるものと考へられてゐる。既に最近年初來全然取引の行はれてゐなかつた諸國例へばシリア等から、2、3の引合や註文が出された。英印及びスカンジナヴィア諸國は、今

年は昨年と較べて 50% 以上も買付を減らせてゐるが、而も之等の諸國には、實際は可成り重要な需要が存在してゐるものと想像されてゐる。

然しながら同時に、市場の現在及び將來の情況には、餘り好ましからぬ兆候も亦見受けられるのである。先づ第一に、棒鋼は依然不安定な状態を續けてゐる。即ち 2, 3 の自由市場、例へばアルゼンチン等に於けるその實際価格は、公道價格の幾分下で變動してゐる。斯ういふ理由からカルテルは、棒鋼市場の特殊な組織の基礎を作る爲に準備として、既に凡ゆる統計を集めにかゝつてゐる。此の休日の時期が済み次第、先づ最初にはアルゼンチンの次にポルトガル及び他の市場の爲に會議が開かれるものと豫想されてゐる。

市場の前途に對する豫想に就いての今一つの點は、アメリカ鐵鋼業との協定が何の程度までの實際價值を有つてゐるかといふ事であるが、此の點については可成り悲觀的な意見が行はれてゐる。アメリカのメーカーは最近、カルテルの諒解を得る爲に正式の商議を開く事もしないで、彼等の輸出價格を引下げた。ヨーロッパとアメリカのメーカー間に、輸出價格に關する一元的な政策を確立する爲に計畫されたロンドン統制事務局は、まだ其の機能を働かせるまでには到つてゐないやうである。兎に角、ヨーロッパの鐵鋼業とアメリカの鐵鋼業との間の競争を無くしようといふ目的は、まだ達せられてはゐない。少くとも、南アフリカ市場に關する限りは、此の事は確かである。その結果、此の市場向けの大體價格には現に 10~20 志の割引が行はれてゐるのである。

8 月 1 日乃至 6 日間のコジベル受註高は、國內向けに較べて輸出向け數量の減少を示してゐる。但し此の國內註文が比較的増加してゐるのも主としてベルギーの再壓延業者向け半製品の註文増加によるものである。8 月第 1 週の受註高内譯を示せば次の通りである。

國內向け	17,820 t
輸出向け	9,280 "
合計	27,100 "

此の合計 27,100 t といふ數字は、1 週間の受註高としては、可成りの數量である。然しながら第 2 週に入ってからには稍減少した。

銑鐵 市況は引弛みを見せてゐる。ベルギーの賣手は鑄物用 3 號銑の相場を、60 志(紙 FOB)に引下げた。ヘマタイト銑については製鋼工場向鑄物用のヘマタイト銑は、約 800 法 FOB で取引されてゐる。國內市場價格は大體次の通りである鑄物用 3 號銑 420~425 法、鑄物用ヘマタイト銑 800~825 法。

半製品 輸出向けの需要は、1, 2 週來幾分の好轉を示してゐるが、今の處尙此の情勢を維持してゐる。イタリー及びルーマニアが新しい引合を送た。受註高合計は 11,150 t である。

棒鋼 スエーデン、フィンランド、合衆國市場に對しては、現に非常に低い價格で取引されて居り、又オランダ及び 8 月 1 日以降に於てはエジプトに對しても、信認割引が爲されてゐる。それにも拘らず、取引はその割合には増加してゐない。然し來月はもつと増加するだらうと考へられてゐる。其上カルテルは、2, 3 の自由市場、主としてアルゼンチンに於て現在行てゐる秘密の割引を、止める必要があるといふ事を漸く認めて來てゐる。再壓延業者は既に 2~3 志(金)の値引しか許容しない。而も此の程度の値引すら得るのは容易ではない。棒鋼受註高は、今月初週 9,470 t であつた。

3 番アイアン・バー 此の部門に於ては、最近 2 ヶ月の間取引の状態は益々堅實味を増して來てゐたのであつたが、それが此の部門にまでも最近或程度の需要の休止状態が感ぜられるに到た。メーカーはなほ 7, 0, 0(紙)の相場を唱へてゐるが、然し丸鋼に對しては

6, 17, 6 の値段をも容認しやうとしてゐる。

形鋼 構造用鋼材の需要は幾分減退したが、價格はよく維持されてゐる。8 月初週の受註高は 1,560 t であつた。

帶鋼 コールド・ロール物ホット・ロール物の孰れも、買付は微溫的である。ホット・ロール・フープの實際の價格は、註文の大きさ、向け先、競争の有無等の事情によつて異てゐる。チューブ用ストリップは相當需要多く、價格は 5, 7, 6(金) FOB に上た場合もある。

厚、中板 最近の輸出價格引上げの効果が、いよいよ待ち設けられてゐる通り、市場に表れて來たといふ印象が強い。引合數量は増してゐる。そして註文の流入も亦幾分増加した。8 月初週の受註状態は次の通りである。厚板 2,790 t、中板 740 t、ユニバーサル平鋼 325 t。極東からの厚中板の買付は今の所甚貧弱である。

黑板 此の市場は依然強調を維持してゐる。然しながら價格については、カナダ向け B. G. 20 以上の厚みのものには公式の割合が行はれてゐる。スイス向け價格は、大口註文に對しては割引が爲されて居り、此の割引額は t 當り 3'50~7'50 スイス法であつたが、此の割引額は増加された。一般輸出向け價格の非公式の割引は今尙 15~20 志(紙)程度である。8 月初週の受註高は幾分少く、1,080 t であつた。

亜鉛鍍板 需要は依然少く、註文數量はメーカーの生産能力の遙か下位にある。値引は 20~30 志(紙)の範圍内では、以前よりも容易に受け得るやうになつた。

紐育通信(8 月 19 日發信) 勿論現在に於て各製鋼會社共資本の増加は之を極力回避して居るが、將來に於ける better times に備へる爲最近修繕並に擴充を急ぐ向少なからず、殊に傳へらるゝ處に依れば U. S. Steel Corporation に於てはプログラムとして餘り豫期しなかつた設備の擴充費として最近 25,000,000 弗を支出すると傳へられ、是等を合する時は全米製鋼會社にて大約 61,000,000 弗の修繕並に擴充費が支出せらるゝ事となる模様にて、右は去る 6 月實施したる basing point price system に基く需要の増加を見越しての處理なる事勿論なるが、大會社に於ては前記 basing point price system に幾多の缺陷を有し、地方的には相當の修正を必要とする事を認めて居るけれども、事實に於て本制度が相當の實果を齎しつゝある事は何れも之を認めて居る處である。

最近數週間に於ける修繕並に擴充の主なるものを擧げて見ると、Youngstown Sheet & Tube Co., が Indiana Harbor, Ind., 及 Youngstown, Ohio, の兩所に對し 17,500,000 弗を支出する事を決定し、又 Weirton Steel Co., がその分系工場たる National Steel Corporation at Weirton, W. Va. に對し 5,000,000 弗を支出すると言はれ、其他 Wheeling Steel Corporation が其 Martins Felry, Ohio に對する 2,000,000 弗 American Rolling Mill Co., が其 Ashland, Ky 工場に 450,000 弗を支出する外、擴充の爲既設工場の擴充費は全米各製鋼會社に於て大約 50,000 弗と稱せられて居る。一方に於て鉄力板と軌條とは "Class by themselves" として先般の basing point price system には含まれず別段の變化を見なかつたのであるが、最近鉄力板に對する作業率は僅々 30% 臺にして、早晚何等かの方策が考へらるゝものと期待せられてゐる。軌條に就ても同様にして 1937 年 5 月 5 日以来の値引 t 當 42 弗 50 仙は過去 20 年以來の平均値を維持して居る譯であつて、最近相當額の商談成立したとは云ふものゝ、各鐵道業者が極度に不況に陥て居る際、其前途は暗憚るものがある。只問題は自

動車工業にして、既に 1939 年型の新作の準備に取掛たと言はれ之れが爲、デトロイト地方に於ては 52% の作業率を示すに至る。

之を要するに、秋季旺盛期に於ける建値は茲數週間の内に發表せらるゝ事と思ふが、一般には餘り大きな變化を見ないだらうと觀察せられてゐる。尙茲に記附すべきは伊太利政府が最近屑鐵鋼に關する貿易獨占の特別局を作り、屑鐵配給の統制を行ふと共に國內製鋼業の管理を行はんとする意圖ありと傳へられ、以上は自國鐵工業再興策にある事勿論であるが、伊太利は是迄米國の屑鐵を毎年相當量買付け居り、且は鐵鋼製品の賣買關係にも重大なる關係を有するだけに、米國內鐵鋼業者として以上成行に相當なる關心を持て居る次第である。

**【中旬】** ブラッセル通信 (8 月 18 日) もしも鐵鋼のメーカーや輸出業者がたゞ商業や金融上の要因ばかりを考慮して、將來の見込を立てる事が出来るものならば、此の秋の鐵鋼の國際市場は、相當著しい恢復の機運にあるものと、考へることも出来るだらう。けれども残念な事には、最近取引業者は、政治的な要因を漸次重要視して來る傾向にある。それと云ふのも、大體先づ消費者が、ヨーロッパの政治情勢の今後の發展如何によつて行動を決する爲に、當分の間發註を抑へてゐるからである。フランス空軍の總帥ゲューレマン將軍の、友誼的なドイツ訪問と云ふやうな事があつたにも拘らず、ベルリンの株式取引所には今週廣範圍の賣物が出、其の中には一流物さへが混つてゐた。然しロンドン及びニューヨークの株式市場は可成り堅實である。とにかく國際鐵鋼市場に於ける取引の状態も亦、政治的不安によつて影響されてゐるやうであり、ブラッセル鐵鋼取引場の取引高が、今週は目立て減少したことを見ても、此の事は想像される。

もしも政治情勢が幾分の好轉を見せたならば、鐵鋼市場の状態も亦或程度好くなることは確かであらう。然しながら、國際鐵鋼業には、また別に獨自の問題もあるのである。南アフリカ市場に對する。アメリカのメーカーの態度が闇明を缺いてゐる。而もそれは、所謂アウトサイダーばかりの事ではないのである。其の爲に、イギリス及び大陸のメーカーとアメリカのメーカーとの間に結ばれた販賣及び販賣價格の協定の効果が、幾分疑ひの眼を以て見られて居り、此の問題を解決する爲に、ヨーロッパのメーカーの代表が、新しくアメリカに派遣されるといふ噂が擴まつてゐる。それにしても、此のやうな新規の努力が果して成功するかどうかといふ事は、依然として問題である。イギリス代表のダンカン氏は、南アフリカに於けるアメリカの競争の問題に關し調査中であると言はれてゐる。

此外に、スウェーデンの競争も亦、いろいろの混亂を惹起してゐる。そしてカルテルは、最近フィンランド向け棒鋼の値下げをしたが、今般更に又、同市場向け工形鋼の價格を 4, 17, 6 (金) FOB から 4, 10, 0 に引下げた。更に最近、ワシントン政府の正式聲明によれば、南アメリカ諸國に對する合衆國の輸出貿易を振興する爲に、州有の輸出入銀行は今後尙一層の便宜を與へるとのことであるが、さうとすれば、南アメリカ市場に於けるアメリカのメーカーの活動は、今後益々活潑になるだらうといふ懸念もある譯である。

今月前半のコジベル受註高は 50,100t であるが、未だ買付減少の事態を反映してゐない所に、寧ろ満足す可きであらう。然し噂によれば、實際は註文の流入は減少したのであるが、大陸カルテルの他のグループが受註數量の一部をコジベルに對して返還し、それによつて漸く以前の水準が維持される結果となつたのではなからうか

と言はれてゐる。

**銑鐵** 此の部門は依然不況を續けてゐる。ベルギーの鑄物用 3 號銑の輸出相場は 61 志 (紙) FOB に止つてゐるが、フランスのメーカーは 60 志で賣て居り、一部にはそれ以下の相場を建てゐるものもある。

ヘマタイト銑の價格は變らないが、これは寧ろノミナルと云ふ可きであらう。

**半製品** 今月前半の受註高は約 15,000t であつたが、それは大部分國內市場向けであつた。7 月中のベルギーの鋼塊生産高は微増を示してゐる。即ち約 5,000t 増加して、177,000t であつた。半製品の輸出價格は不安定である。

**棒鋼** 輸出向けの眞の價格は依然として知り難い。引合の數量は、今までの處は稍々満足す可き状態にあるが、然しだんだん不規則になつて來てゐる。輸出業者の海外代理人からの報告によると、實際の價格は全く不規則であり、此の 3 月の初めにカルテルの公定價格に違反したものに對する罰則が強化されたにも拘らず、大抵の場合公定價格と全然一致しない。然し再壓延業者は、現在 2 志乃至 2 志 6 片 (金) の値引をして居り、2, 3 例外的な場合の 3 志の値引を認めてゐるが、此の値引を増加しようとはしてゐない。

**3 番アイアン・バー** 此の品種は、益々鐵筋用丸鋼の代用として使用されることが多くなつたので、價格は明きらかに引締てゐる。先週の 7, 0, 0 (紙) FOB と云ふ相場は、7, 2, 6~7, 5, 0 に騰貴した。7, 10, 0 を要求するメーカーもある程である。然し此の 7, 10, 0 といふ相場で實際取引の成立した場合は、恐らく無からうと思はれる。

**形鋼** フィンランド向けの價格が引下げられた事の外には、別に變た事は何もない。公定價格は嚴重に守られてゐる。

**帶鋼** ホット・ロール・フープ市場の輕微な買付増加は既に止んだやうである。取引は再び變化の無い状態に返た。コールド・ロール・フープはどちらかと云へば閉却されてゐる。然し割引は、大口の契約に對しては例外的にされる場合を除けば、一般に行はれてゐない。

**厚中板** 買付は依然緩慢である。そして、南アメリカ、南アフリカ、極東等に於て、又蘭印に於てすらも、アメリカの競争が依然感ぜられる。多くの場合に於てアメリカの價格はカルテルの公定價格よりも、5 志 (金) 或はそれ以上も低い。カルテルは、イタリー、アルバニア、ユーゴスラヴィア、ブルガリア、ルーマニア、ギリシャ等の諸國に對しては、最近の鋼板價格の引下げを取消した。

**黒板** 新規註文の入手は益々不規則になつて來た。ベルギーのメーカーは (と云つても主として再壓延業者であるが) 15~20 志 (紙) の値引を許してゐる。然しフランスのメーカーは尙 30~35 志まで値引してゐる模様である。

**亜鉛鐵板** 取引不活潑の状態は今週は一層進んだ。大抵の場合 20 志 (紙) の値引は容易に得られる。比較的大口の契約に對しては 30 志の割引も爲されて居り、一方フランスのメーカーは 30~40 志 (紙) の値引をしてゐると報ぜられてゐる。

**【下旬】** ブラッセル市況 (8 月 25 日) 8 月の休日の影響に對して、市場はよく持ち堪へたといふのが、一般の印象である。南アメリカからの註文は極少量しか無かつたけれども、スカンデナヴィア諸國、オランダ及び國內市場の買付數量が可成りの數量に上つたので、爲にベルギーの製鐵業者の受註高は、以前の水準を維持する事が出來た。コジベル受註高は、23 日迄で 73,000t に達したが、此

の調子で行けば、今月の受註高總計は多分 100,000t に上るだらうと思はれる。それは6月と同水準或は稍低位といふ數量になる。今月は休日といふ不利な條件があるのだから、此の點を考慮に入れて、ベルギーのメーカーは此市況に可成り満足して居り、又更に秋の取引情況の見込に對しても、益々信頼を増して來たやうである。

英國鐵鋼聯盟が、第 34 半期の輸入割當に基いて、9 月に半製品の輸入に許可を與へるだらう、といふ見込がある。さうすればベルギーのメーカーは、半製品の受註を、普通の買付割合以外に 20,000t 乃至 27,500t 程増加させ得るだらう。又既報の通り、オランダ及びエジプトに對しては割引が行はれる事となつた、此の割引の爲に、それ等の市場は以前ほどアメリカの競争に脅かされなくなるだらうと考へ得る徵表がある。アメリカの競争に對抗する爲に、南アフリカにダンピング關稅を設定する事に關して、目下商議が進行中であり、此に付いては近々一致が得られるものと期待されてゐる。同時に、アメリカの生産數量が少しづゝながら漸次増加してゐる事も、一般にいゝ印象を與へてゐる。

銑 鐵 此の市場は依然堅實である。然しながら取引高はまださして増加しなかつた。それにも拘らずフランスのメーカーは、週 40 時間労働制の部分的撤回に好い印象を受けて、幾分硬化した。フランス産の鑄物用 3 號銑は現在の要 60-61 志 FOB でありベルギー産は 61 志である。

屑 鋼 秋に於ける買付復興の見込の爲に、此の市場も多少騰貴した。製鋼用屑鋼は 330-340 法である。然し既に 340-350 法を要求してゐる賣手もある。

半製品 23 日迄の受註高合計は 18,000t であつた。イタリーはブルームとビレットをとつてゐる。

棒 鋼 今の處國外需要は大して強くないが、受註高合計は 23 日迄で 29,000t に達した。然しながら値引は以前よりも得るのが困難になつた。ベルギーの再壓延業者は今尙 2-2.6 (金)、例外的な場合には 3 志の、値引を許してゐる。要するに全般的に云て、メーカーは稍々強硬になつたやうである。それと云ふのも、新規の相當大きな引合が幾つか極東から入たからである。

3 番アイアン・バー 買付は幾分緩漫になつた。然しメーカー受註高は相當ある。相場は 7, 0, 0-7, 2, 6 (紙) FOB 程度である。

形 鋼 フィンランド向け價格の最近の引下げは、まだ大した效

果を表してゐないが、間もなく新しい引合が來るものと期待されてゐる。今までの受註高合計は 7,000t である。價格は嚴密に守られてゐる。

帶 鋼 ホット・ロール・フープの需要は僅に増加した。然しコールド・ロール・フープの需要は依然緩漫である。價格には變化なし。

厚、中板 23 日迄の厚板、中板、ユニバーサル平鋼の受註高合計は 9,500t であつた。買付の情況は稍好くなつたが、然しまだまだ満足す可き程ではない。

黒 板 組合加盟のメーカーは約 4,500t の註文を受けた。然し再壓延業者はもつと多くの註文を受けたと言はれてゐる。再壓延業者の値引は 15-20 志 (紙) である。そしてフランスのメーカーは、彼等の割引を、平均 20-25 志まで減らせたと報ぜられてゐる。

亜鉛鍍板 買付状態はまだ餘り好くはないが、取引の前途は漸次好くなる傾向にある。値引は一般に 20 志 (紙) であり、以前同様大口の契約に對しては 30 志である。亜鉛鍍板の輸出は今年は甚しく減少した。即ち今年の前半 6 ヶ月間で約 66,000t (65%) の減少である。從てメーカーは、今後註文の流入は益々多くなるだらうと期待してゐる。

鐵鋼配給統制團體の追加 9 月 14 日附商工省告示第 270 號を以て鐵鋼配給統制規則第二條の規定に依り次記の通り團體を指定す

記 食料品罐詰製罐工業組合 5 ガロン罐工業組合 日本鐵鋼製品工業組合聯合會

海軍關係鐵鋼配給證明書發行擔任官の追加 9 月 9 日商工省臨時物資調整局第一部長より次記の通り發行擔任官追加せられたる旨鋼材共販事務所宛通報せらる

大阪 大阪海軍艦政本部造船兵首席監督會計官

10月中の日本鋼材聯合會關係の日程

- 10 日 (月) 日本鋼材聯合會常務委員會 東京  
棒鋼共同販賣組合理事會 東京  
形鋼共同販賣組合理事會 東京  
線材共同販賣組合理事會 東京
- 11 日 (火) 鋼板共同販賣組合理事會 東京  
半製品棒鋼共同販賣組第二部理事會 東京
- 13 日 (木) 帶鋼共同販賣組合理事會 東京  
鉄力板共同販賣組合理事會 東京

線材共販 普通線材取扱指定問屋名簿 (昭和 13 年 9 月 22 日現在)

東 京 之 部

店 名	所 在 地	電 話 番 號
株式會社 木下商店	東京市京橋區寶町 3 丁目 5 番地	京 橋(56) 1352, 1353, 2462, 8372
株式會社 森岡會	東京市日本橋區江戶橋 1 丁目 2 番地	日本橋(24) 4425, 1644

大 阪 之 部

株式會社 井上商店	大阪市西區立賣堀南通 4 丁目 10 番地	新 町(53) 1100, 1101, 2445, 2446, 3445, 3446
大阪金網株式會社	大阪市西區立賣堀北通 4 丁目 9 番地	新 町(53) 138, 139, 1159, 3062
合名會社 片山榮一商店	大阪市西區立賣堀北通 5 丁目 4 番地	新 町(53) 1839, 1392, 4520, 3152
中山商事株式會社	大阪市北區宗是町 1 番地(大阪ビル6階)	土佐堀(44) 4407, 3983
合名會社 梅本商行	大阪市西區北堀江 3 番町 17 番地	新 町(53) 1806, 2950, 2951
株式會社 山本會	大阪市南區安堂寺橋通 1 丁目 10 番地	船 場(83) 3508-12
株 松浦捨吉商店	大阪市南區安堂寺橋通 1 丁目 14 番地	船 場(83) 3010, 5005
合資會社 深浦商店	大阪市西區南堀江上通 1 丁目 29 番地	櫻 川(64) 1047, 3798
株式會社 福田商店	大阪市西區西道頓堀通 2 丁目 2 番地	櫻 川(64) 36-8, 3380
合資會社 糴村商店	大阪市南區長堀橋通 1 丁目 14 番地	南 (75) 343, 6022
株式會社 佐渡島英祿商店	大阪市南區安堂寺橋通 3 丁目 6 番地	船 場(83) 902, 922, 932, 933
合名會社 下村商店	大阪市南區安堂寺橋通 1 丁目 37 番地	船 場(83) 2537, 2742, 2863, 4915

25日(火) 日本鋼材聯合會常務委員會 大阪  
 棒鋼共同販賣組合理事會 大阪  
 形鋼共同販賣組合理事會 大阪

26日(水) 鋼板共同販賣組合理事會 大阪

**文部省關係鐵鋼の發註及證明に關する件**

首題の件に關し9月5日附を以て共販事務所より下記趣旨の通知ありたり。

記 文部省は直轄各部局長に鐵鋼の發註及證明書發行の權限を委任し、次の如く證明書を發行する部局及證明書様式を發表せり。

注意 委員會又は協議會等の名義にて發行せらるゝ事無きを以て斯の如き證明書が發行せられたる場合は鐵鋼の配給を見合せる事。

(1) 證明書を發行する部局

文 部 省

東京帝國大學	米澤高等工業學校	濱松高等工業學校
京都帝國大學	桐生高等工業學校	徳島高等工業學校
東北帝國大學	横濱高等工業學校	長岡高等工業學校
九州帝國大學	廣島高等工業學校	福井高等工業學校
北海道帝國大學	金澤高等工業學校	山梨高等工業學校
大阪帝國大學	仙臺高等工業學校	秋田礦山専門學校
東京工業大學	明治専門學校	東京高等商船學校
名古屋高等工業學校	東京高等工藝學校	神戸高等商船學校
熊本高等工業學校	神戸高等工業學校	函館高等水産學校

(2) 證明書様式

證 明 書

1. 鐵鋼需要量

大型軌條 及繼目板	中形軌條 及繼目板	大形鋼材	厚 板	其他普通 壓 延 材	合 計
噸	噸	噸	噸	噸	噸

1. 工事名

1. 請 負 人 住 所 氏 名

右鐵鋼ハ本(部局名)ノ割當量以内ナルコトヲ證明ス

年 月 日

部 局 名 印

以上ハ請負ニ附シタル場合ノ證明書ナルモ直接註文ノ場合モ之ニ準シテ發行ス

**東西鐵鋼市況**

**【上旬】** 鐵鋼業界に於ける劃期的な法令であつたあの鐵鋼配給統制規則の公布以來、既に2ヶ月以上の時日が経過したので、何彼と云ひながらも業界も統制經濟に稍々馴染んで來たとは言へよう。

然し、此の12日には統制規則の第2條に可成り重要な改正が爲されたやうな状態であつて、統制經濟の體制は未だ整備されたとは言へず、所詮は試練の時期を脱しないやうである。

兎に角此の3ヶ月足らずの期間に爲されて來た事は、統制の實施以後當初豫期してゐなかつた困難が次々に表れるのを、一つ一つと克服す可く努力する事であつた。

此のやうな努力は今後も尙、永い間續けられねばならないであらう。

ところで市況に就いては其後も格別の變化は見えない。

統制規則の改正によつて6月30日現在の既契約品にして引渡未済のものも、その引渡には證明書を必要とする事となつたが、無

切符でよいものを切符の提示を強要し、又強要されたが爲に、所謂馬鹿を見たと言ふ種類の後悔が残るのみで、切符と現品の引換と云ふ原則に變りはなく、法令的の不備を改正されたに過ぎないので、實際上市場には少しも變動を興へてはをらない。

尙ほ7、9月分の切符は大體出てしまつたので、切符は減少するとも増加せぬ一方非々ながら先物が賣出されてゐるし、不自由に大分慣れもしたので、一頃よりは氣分に於ては稍々放された觀があるが、それも比較上の事で、需要の不均衡、不適合に見るべき是正は無い。

要するに依然として大勢は變らず、統制一色が市場を支配してゐる。

**【中旬】** 「物が少く、買手が多ければ、高くなるのが當り前だ」と云ふ觀念は和鐵時代以來永く培はれて一朝一夕に抜けるものではない。

自分の物を自分が使ひ、右から左、左から右に動かし、利を迫うて走るのは先祖傳來の天性である。

されば既に、夙に、曰く申合値段、曰く規定値段と云ふやうなものが現はれたが、守らるればこそ、總て一片の反古にも等しく闕り去られて來た。

鐵鋼配給統制規則が出たからとて此の根強い執着が180度轉向するものではない。

況して從來統制破りが暗黙の裡に許されて來たので、7月1日からは事情が異るとは云へ、初期に於ては、從來の考へ方、行き方を、絶大には改めずに臨んだ向が大分見えたのは否定出來ぬ。

裏を搔き、危険を冒して利を得る處にスリルを求め、快哉を叫ぶのではなくとも、少くとも求められてゐる程の責任を感じず、從て善意なると惡意なるとは別として統制に背いた場合が有たであらう事は想像出来る。

昨今經濟警察の手が旺に業界に延びてゐるが、業界にも罪が無かつたとは云へない。大いに罰せられて然るべきものも有て、全鋼商、全特聯、日鋼聯と云ふ組織が存するからは、啻に違反者のみをカインの末裔と目して濟まされず、業界全體に責任がある。業界全體が層一層自肅自戒して今後に處さねばならぬ處も有る事勿論である。

然し、劔と彈とでソ聯式に統制するならば知らず、國體と時局を考へれば、我國に於ては官民緊密なる協力を以て臨み、業者の意思を汲み、業者を指導する建前で進むべきで、當局にも大いに其の要意は有たのであらうが、當業者不信認からしてか、業者の協力を俟たずして、むしろ違反行爲を罰する事に重きを置くやに窺はれるのは残念である。

鐵鋼は品種寸法別に細別すると三千數百種ある。品質もざつと分けて極軟鋼、軟鋼、半軟鋼、半硬鋼、硬鋼、最硬鋼と有る。日鋼聯關係の建値と伸鐵建値。外註物、現物、先物、新規、定期の取引種類。長さ、寸法のエキストラ等を考へると凡そ複雑な商品で、之を完全に統制し、運行の圓滑を期する事は全く至難事である。

政府が業者を信じて自治統制を圖たのに、それを裏切つた業界に多大の罪が有るとは言へ、斯くの如く複雑にして且統制の執行者自身未だ戰時統制の理解が充分でなく、旁々例へば配給統制規則其ものに就てきへ、後日に至つて重大なる訂正が成された如く、又は日鋼聯級のメーカー社内使用鋼材の取扱に就ても、未だに1日1問を生じつゝあるが如く、根本義、解釋に於て、實際の扱方法に於て、尙ほ研究の餘地を残し、不備である際、違反の摘發を所謂經濟警察に

委ねた事が先づ問題であるが、取締に急にして、上、下、縦、横に益々緊密に融合し、以て時局に臨むを要するの度が進んだのに、却て摩擦を進めたるが如き觀を呈するに至たのは大いに考慮されねばならない。

唯今此點に關する市場の關心、切望は大きい。

きはれ事實違反者は飽く迄も罰せらるべきで、場合に依ては國賊の汚名も甘受せねばならぬ時であるから、業界としては何を言ふ前に自らを顧みて、天下に恥ぢざるの行動を取るべきであるかも知れない。此際官民と言はず、先づメーカーは唯我獨尊を捨て、指定商は大度を示し、問屋は我利を去り、共に俱に手を握て戮力協心、國策に沿ふて一層過ち無きを期し度いものである。

元々切符制に依て不自由を來し、不活潑なる商況を辿てゐたのに、昨今は敍上の如き壓迫が加はつたので、更に萎縮して市場には積極性が無く、左顧右盼々々と統制道を歩いてゐる。

**【下旬】**ズデーテン問題は大事に至らず、一應梟がついたが、世界を大戰にまで巻き込む危機は至る處に潜在してゐる。

各國は安閑としてはをられない。況して實力が物を言ひ、全體主義が高揚されてゐるのを目の當りに見せられては、軍需資材に對する世界の欲求は増大するとも減退せぬ。

斯く世界的に極度の緊張を來してゐる際、吾國は日支事變と云ふ大旋風の中心に在るのみならず、其後に來るものをも十二分に覺悟せねばならぬ立場に在るので、緊張の度は激しい。

軍需資材を必要とする度は他國と同日の論でない。況んや世界的情勢が自給自足の已むなきに至らしむるが如き状態に在るに於てをやである。

從て今後益々鐵鋼が國家に依て重視せられ、且要求さるればとて從前の如く解放されるやうな事は斷じて有り得ない。

されば、鋼材市場に關する限りは、量に於て、値段に於て不可避的に縛られ、而して從來言ふ處の大不自由の儘に推移するであらうから、之れは充分覺悟されてゐるとは云へ、鐵鋼界は擧げて誠心誠意、身を提して國家の求むる處に對處するの義務が有り、宿命を

負うてゐると云ふ事を、更に更に觀じて、濟度し難き執着に引摺られて行くのでは無く、達觀して欣然大往生を成すに似た心境を以て臨む秋である事を、改めて一層確認せねばならない。

市場よ何處へ行く！ではなく、既に賽は投げられ、進路は明示されてゐるのであるから、今後は心の持ち方一つで安心立命か否かは定まる。

商賈即ち互利を得るを賢明とし、良しとする時代は過ぎたのである。人各々其の分に應じ、國家的に働いて意義が有り、限られたる、許されたる範圍に於て利益を分與されると云ふ事となるのではあるまいか。

とすれば、此際修羅の妄執に囚はれて、身を焼くよりは達觀して善處するのが、遙に賢明であると知らねばならない。

市場は不自由の儘に推移するであらう。

尤も最近は無切符の既約物は積出さず、且切符引換が嚴守されてゐるので、メーカーに大分ストックが出來、從てそれが切符を要せぬ市場に流入して、幾分なりとも不自由を緩和するであらう事は考へられぬではない。事實昨今は折柄新規切符の出廻りが減退し、旁々需給の品種寸法がうまくミートせぬので、それ等と相俟て市場在庫が増加し、稍々窮窟の頂上は過ぎたかの觀を呈してゐる。

然し之れは一時的の現象で、10月、11月、12月分の切符が出初め、メーカーのストック對策が軌道に乗れば依然として所謂不自由を續けざるを得ないと見てよい。

尙ほ諸制度が改過遷善され、統制事務に慣れる等の事が有て、幾分かはユトリが出來て來るではあらうが、之れは少しでも舊に復さんとする結果ではなく、新事態、新機構内即其後の組織内に於ける動きであると云ふ事を認識して、徒に娑婆氣を再燃せしめぬやうにせねばならない。

昨今の市場に斯く大乘的見地に立ち、達觀主義に據らんとする氣配が濃くなつたやうである。

精神上の前進は此際掛換の無い收穫で、市場の爲め誠に喜ばしい事である。



特表

商

況

993

東京大阪鐵鋼市中相場表

備考 100%につき(置場値段)東京は諸掛含まざる標準裸値段(但し薄板は一枚當り、線材は應當り、ブリキは一函當り)

		9月8日 東京	9月8日 大阪	9月19日 東京	9月19日 大阪	9月28日 東京	9月28日 大阪	
丸鋼	6mm	21'60~25'30	28'80	21'60~27'40 伸	28'00	21'60~27'40 伸	28'60	
	9	22'70~24'30	23'50	22'70~23'20	23'20	22'70~23'20 伸	23'90	
	12	20'60~24'80	21'40	20'60~23'70 伸	23'80	20'60~27'70 伸	23'90	
	19	19'50	20'30	19'50	20'20	19'50	20'20	
	25	"	"	"	"	"	"	
	50	22'20	23'00	22'20	22'90	22'20	22'80	
	65	"	"	"	"	"	"	
	130	26'40~30'00	—	26'40~30'00	—	26'40~30'00	—	
	150	"	—	"	—	"	—	
	200	"	—	"	—	"	—	
角鋼	9mm	25'80	26'70	21'10~25'80 伸	25'50	21'10~25'80 伸	26'50	
	12	21'10~26'40	27'20	21'10~26'40 伸	26'00	21'10~26'40 伸	27'00	
	16	21'10	22'00	21'10	21'80	21'10	21'80	
	19	"	"	"	"	"	"	
	38	"	—	"	—	"	"	
	50	22'20	—	22'20 伸	31'30	22'20 伸	"	
	65	"	—	"	—	"	22'80	
	100	"	—	"	—	"	"	
	平鋼	3×25mm	25'80	26'00	21'10~25'80 伸	26'50	21'10~25'80 伸	26'50
		9×19	21'10	22'00	21'10 伸	"	21'10	21'80
6×25		"	"	"	21'80	"	"	
6×38		"	"	"	"	"	"	
6×50		"	"	"	"	"	"	
6×75		22'20~26'00	25'90	22'20~26'00 伸	25'80	22'20~27'00 伸	25'80	
9×100		"	"	"	"	"	"	
12×100		"	"	"	"	"	"	
等邊山形鋼	3×20×20mm	22'70	23'55	22'70 伸	31'00	22'70~32'00	23'30	
	3×25×25	21'60	22'50	21'60 伸	"	21'60~32'00	22'30	
	5×40×40	20'60	21'45	20'60	21'20	20'60	21'30	
	6×45×45	"	"	"	"	"	"	
	6×50×50	21'10	21'95	21'10	21'80	21'10	21'80	
	6×65×65	20'00	20'90	20'00	20'80	20'00	20'80	
	9×75×75	"	21'95	"	"	"	"	
	9×130×130	21'10	"	21'10	21'50	21'10	21'80	
	12×130×130	"	"	"	"	"	"	
	15×150×150	"	"	"	"	"	"	
不等邊山形鋼	9×50×75mm	21'10	21'95	21'10	21'80	21'10	21'80	
	10×75×100	"	"	"	"	"	"	
	10×90×125	"	"	"	"	"	"	
	9×100×150	21'60	22'50	21'60	22'00	21'60	22'30	
溝形鋼	12×100×150	"	"	"	"	"	"	
	5×50×100mm	22'70	23'55	22'70	23'50	22'70	23'40	
	6×65×125	22'20	23'05	22'20	22'90	22'20	22'90	
	6'5×75×150	"	"	"	"	"	"	
	7'5×80×200	"	"	"	"	"	"	
	9×90×250	"	"	"	"	"	"	
工形鋼	10×90×300	"	"	"	"	"	"	
	5'5×75×150mm	22'20	23'05	22'20	22'90	22'20	22'90	
	7×100×200	"	"	"	"	"	"	
	10×125×250	"	"	"	"	"	"	
	8×150×300	"	"	"	"	"	"	
鋼板	12×150×350	"	"	"	"	"	"	
	1'6×3'×6'	25'80	26'10	25'80	25'70	25'80	26'50	
	1'6×4×8	26'90	27'10	26'90	27'60	26'90	27'50	
	1'6×5×10	28'00	28'10	28'00	—	28'00	28'50	
	2'3×3×6	25'30	25'50	25'30	25'00	25'30	26'00	
	2'3×4×8	26'40	26'50	26'40	27'10	26'40	27'00	
	3'2×5×10	27'40	27'50	27'40	—	27'40	28'00	
	3'2×3×6	23'70	24'50	23'70	24'50	23'70	24'40	
	3'2×4×8	"	"	"	"	"	"	
	3'2×5×10	"	"	"	"	"	"	
	4'5×3×6	23'20	"	23'20	24'00	23'20	23'90	
	4'5×4×8	"	"	"	"	"	"	
	4'5×5×10	"	"	"	"	"	"	
	6'0×4×8	"	24'00	"	"	"	"	
6'0×5×10	"	"	"	"	"	"		
9'0×4×8	22'70	23'50	22'70	23'40	22'70	"		
9'0×5×10	"	"	"	"	"	"		
12×4×8	"	"	"	"	"	"		
薄鋼板(13板)	川崎	1'03	1'02	1'03	1'02	1'03	1'02	
	八幡	"	"	"	"	"	"	
ブリキ	米	—	—	—	—	—	—	
	英	—	—	—	—	—	—	
	八幡	38'50	39'00	38'50	37'50	38'50	38'00	
	—	40'00	40'50	40'00	38'50	40'00	39'00	
W.W	200 薄口	—	43'00	—	43'00	—	43'00	
線材	B.W.G.#5	196'00	—	196'00	200'00	193'00	198'00	

昭和 13 年 9 月中 發表 各種 鋼材 建値 表

(其の 1)

所屬別	區 分 品 種 別	建 値 日	建 値	定 尺	エキ スト ラ	備 考	
棒 鋼 共 販	丸鋼ベース (19mm~32mm)	9-12	185	12 呎. 15. 16. 18. 20. 22. 24		<b>11, 12 月積, 据置</b>  長さのエキストラ 34 呎超 不定尺 5 圓増 45 呎超 45 呎迄 6 圓増 50 呎超 50 呎迄 8 圓増 別に相談の事  二級品の格差 小形丸鋼 3 圓落以内 中形丸鋼 10 圓落以内 小形角鋼 3 圓落以内 中形角鋼 10 圓落以内 小形平鋼 10 圓落以内 中形平鋼 10 圓落以内  但棒鋼共販の販賣品種は 丸鋼徑 } 100mm 以下 角鋼徑 } 平鋼幅 } 130mm 以下 (火床用平 六角鋼 } 對邊の距離 100mm 以下 八角鋼 } 半丸鋼幅 } 130mm 以下	
	6mm	"	205	12	+20		
	8	"	215	12	+30		
	9	"	215	12. 15. 18. 20 (日 鐵のみ)	+30		
	12	"	195		+10		
	13	"	195		+10		
	16	"	190		+ 5		
	36~48	"	195		+10		
	中形丸鋼 (50mm~100mm)	"	210	12. 15. 18			
	小形角鋼 (邊 50mm 未滿)	"	200				
	中形角鋼 (邊 50mm 以上 100 mm 以下)	"	210				
	小形平鋼 (幅 65mm 以下)	"	200				
中形平鋼 (幅 65mm 超 130mm 以 下, 火床用を含む)	"	210					
形 鋼 共 販	小形等邊 山形鋼	A 3×20×20	9-12	215	12 呎. 15. 18. 20	+20	<b>10, 11 月積, 据置</b>  長さ又は切揃のエキストラ 25 呎超 40 呎未滿 { 大形 10 圓 { 中形 5 圓 40 呎超 50 呎以下 { 大形 15 圓 { 中形 10 圓 50 呎 超 { 大形 20 圓 { 中形 15 圓 25 呎 未 滿 { 大形 15 圓 { 中形 10 圓  但定尺のみは中形のエキストラは 250 圓大形はエキストラなし.  二級品の格差 小形 } 中形 } 3 圓落 大形 }  規 格 料 A 造船用 (切揃料を含む) 1 造船聯合會經由 30 圓 2. 其他のもの 50 圓 B 構造用 (切揃料を含まず) 20 圓  但形鋼共販の販賣品種は 山形鋼 (異形山形鋼を含む) 工形鋼 溝形鋼
		B { 3×25×25	"	205	"	+10	
		{ 3×30×30	"	205	"		
		{ 3×40×40	"	205	"		
		C { 5×30×30	"	195	"		
		{ 5×40×40	"	195	"		
		{ 4×45×45	"	195	"		
		{ 6×40×40	"	195	"		
		{ 6×45×45	"	195	"		
	小形不等邊山形鋼 5×35×50	"	205		+10		
	中形 山形鋼	等邊 (50mm 以上 100mm 以下)	"	190	25. 30. 33. 36. 40	ベース	
		4×50×50	"	205		+15	
		6×50×50	"	200		+10	
		8×50×50	"	200		+10	
		不等邊 (邊の和 100mm 以 上 200mm 以下但 125×90 を含む)	"	200		+10	
	大形 山形鋼	等邊 (邊 100mm 超)	"	200	25 30. 33. 36. 40	ベース	
		200×200	"	203		+ 3	
		不等邊 (邊の和 200mm 超但 125×90 は中形)	"	205		+ 5	
	工形鋼 (大形と して取扱 ふ)	100mm×75mm 以上	"	210	25. 30. 33. 36. 40	ベース	
		400×150	"	212		+ 2	
		450×175	"	213		+ 3	
20''×7½''		"	213	+ 3			
24×7½''		"	216	+ 6			
溝形鋼 (大形と して取扱 ふ)	125mm×65mm 以上	"	210	25. 30. 33. 36. 40	ベース		
	100×50	"	215		+ 5		
	75×40	"	215		+ 5		

特集6

昭和13年9月中發表各種鋼材建値表

(其の2)

所屬別	品 種 別	建 値 月 日	建 値		エキストラ	備 考	
			シヤ及 間 屋 向	實 需 向			
鋼 板 共 販	耳付 小形 (12mm×5' ×20'以下)	厚板 ベース 6mm	9-13	185	195	ベース +5 +5	備 置 その他のエキストラ 幅 7呎~7呎6吋迄 15圓 7呎6吋超~8呎迄 20圓 8呎超~9呎迄 25圓 9呎超~10呎迄 30圓 10呎超 40圓 厚 25mm ~35mm迄 10圓 35mm超~40mm迄 20圓 40mm超~45mm迄 30圓 45mm超~50mm 40圓 長さ 10m 以上 10圓 中板の中間寸法は最も近き寸法の値 段に 10 圓増し 但鋼板共販の販賣品種は 3mm 超 6mm 未滿の中板 6mm 以上 50 mm 以下の厚板
		4.5 3.2	"	190	200		
	大形 (12mm×5' ×20'超)	厚板 ベース 6mm	"	195	205	ベース +5	
		4.5 3.2	"	200	210		
	定 尺 (3呎×6呎, 4×8.5×10)	厚板 (6mm超 25mm未滿)	"	215	225	ベース +5 +5 +10	
		6mm	"	220	230		
		4.5	"	220	230		
		3.2	"	225	235		
	切 板	小形	厚板 ベース 6mm	"	230	ベース +5 +5	
			4.5	"	235		
大形		厚板 ベース 6mm	"	240	ベース +5		
		6mm	"	245			
薄 板 共 販	3呎×6呎	(13枚入)	9-14	260	10月積 置 その他のエキストラ 25呎×5呎 3圓増 25呎×7呎 5圓増 25呎×8呎 8圓増 25呎×9呎 18圓増 3呎×7呎 5圓増 3呎×8呎 10圓増 其他特殊寸法はエキストラ 20圓以 内とし其都度協定す 規定外中間寸法は近似寸法の高い方 の値段による 但薄板共販の統制品種は 3mm 以下 1mm 以上の中板 1mm 未滿の薄板		
		(12枚入)	"	260			
		(11枚入)	"	258			
		(10枚入)	"	258			
		(9枚入)	"	256			
		(8枚入)	"	256			
		(7枚入)	"	254			
		(6枚入)	"	254			
		(5枚入)	"	252			
		(4枚入)	"	252			
		(3枚入)	"	250			
		1.6mm 2mm	3呎×6呎	"		245	ベース +10 +20
			4×8 5×10	"		255 265	
	2.3mm	3×6	"	240		ベース +10 +20	
4×8		"	250				
5×10		"	260				
半 製 品 棒 鋼 共 販 第 二 部	半 軟	鋼	9-27	259	10月積 徑のエキストラ 丸鋼及角鋼 5.5mm 乃至 6mm 50圓 8 40 9 40 11 乃至 13 25 50 以上 100 迄 25 100 超 150 迄 70 150 超 200 迄 90 六角鋼のエキストラ 12~6mm 80圓 29~58mm 50 橢圓鋼のエキストラ 全部 3圓 平鋼のエキストラ 厚 1/4" × 3/4" 又は 1/2" 150圓 1/2" × 3/4" 又は 3/4" 又は 1 140 3/8" × 1 1/4" -6 130 3/16" × 1 1/4" -6 70 1/4" × 3/4" -4 30 1/4" × 4 1/2" -6 50 5/16" -1 1/4" × 5/8" -4 30 5/16" -1 1/4" × 4 1/2" 以上 50 1 1/2" × 2 -4 30 1 1/2" × 4 1/2" 以上 50 1 1/2" 超 × 3 以上 30		
		鋼	"	259			
		半 硬	鋼	"		268	
			鋼	"		278	
			鋼	"		278	
	最 硬	鋼	"	278			

特集

昭和13年9月中發表各種鋼材建値表

(其の3)

所屬別	品 種 別 區 分	建 月 日	建 値	備 考	
線 材 共 販	5.5mm	9-12	190	10, 11月積 据置 但線材共販の販賣品種は線材全部とす。	
	6	〃	188		
	太熔 接 用 鋼	〃	220		
	低半 炭 硬 素 用 鋼	〃	245		
	硬 鋼	〃	230		
	電 信 線	〃	240		
	含 鉛	〃	260		
プ リ キ 共 販	170lb (20''×28''×112枚入1函)	9-15	36'00	10月積, 据置單位函 日鐵, 東洋鋼板及扶桑鋼業は170, 200lb 据置, 石油罐用胴板50錢下げ, 同地板1圓上げ. 其他組合員は170, 200lb は1圓下げ, 石油罐用板50錢下げ, 同地板1圓下げに決定. 前月迄の二元建値は一元建値となる. 但鉄力板共販の販賣品種は製法の如何に不拘鍍錫したる鋼板及帶鋼(ローモ板を含む) 全部とす。	
	200lb (20''×28''×112枚入1函)	〃	37'50		
	胴 板	〃	21'50		
	110lb (14''×18¾''×124枚入1函)	〃	21'50		
	天地板	〃	30'00		
帶 鋼 共 販	0.9~1mm	19~24mm	9-15	285	10月積, 据置 但帶鋼共販の販賣品種はスケルプ及300mm以下のフープとす。
		25~35	〃	275	
		36~85	〃	260	
		86~105	〃	270	
	1.1~1.3	19~24	〃	280	
		25~35	〃	265	
		36~49	〃	255	
		50~121	〃	250	
		122~150	〃	255	
		151~160	〃	260	
	1.4~2	19~24	〃	270	
		25~35	〃	255	
		36~49	〃	250	
		50~121	〃	245	
	2.1~2.5	122~150	〃	250	
		151~170	〃	255	
		25~35	〃	255	
		36~49	〃	250	
	2.6~3	50~121	〃	245	
		122~150	〃	250	
151~170		〃	255		
25~35		〃	255		
日 本 製 鐵	美 裝 鋼 板 { 1.6mm } 白鳩印 { # 18 }	9-15	問 屋 向 263 實 需 向 276 278           292	据 置.	
		縞 鋼 板 { 4.5mm } { 6.0 }		245 (標準值段)	全部實需向なり.
	珪 素 鋼 板 { B } 級 { C } 級 { D } 級 { T } 級 { T S } 級 (函入)	9-22		追而發表.	
		8-20		追而發表.	
	ス コ ッ プ 用 縞 板 { 1.8mm×3'×6' } { 1.85×4×8 }	8-20		追而發表.	
	重 軌 條 (繼目板共) 輕 軌 條	7-5	210	据 置. 10圓上げ.	
9-20		200			
鋼 矢 板	12-5-25	205	指定河岸渡, t 當り値段なり.		